



GOVERNOR'S  
MONTHLY LETTER

2013-2014

Rotary

International

District

No.9



奥胎内の雪景色

ガバナー 山崎 堅輔

事務局：〒959-2627  
新潟県胎内市野中 490-3 新和ヒルズ 2F  
TEL0254-28-8822 FAX0254-28-8826  
E-mail:k.yamazaki@rid2560niigata.jp



CONTENTS

表紙ページ.....	1
ガバナーメッセージ.....	2
2014 年度 国際協議会に出席して.....	3
米山記念奨学生選考会報告.....	4
地区補助金プロジェクト報告 長岡 RC.....	5
社会奉仕活動報告 三条東 RC.....	6
社会奉仕活動報告 越後春日山 RC.....	7
ハイライトよねやま 167 号 .....	8
ロータリー文庫 .....	10
第 2560 地区 2013-2014 年度 1 月末 会員数および出席報告.....	11
裏ページ.....	12

## 識字率向上月間によせて

国際ロータリー第 2560 地区  
ガバナー 山崎 堅輔 (中条 RC)



3月に入りますと、3日には桃の節句があり、身も心も一気に春めいて参ります。皆様に於かれましては、GOLF球春をはじめワクワクする様な企画をお考えのことと存じます。

先般(1/25～26)、日台ロータリー親善会議に出席して参りました。到着のその日は、素晴らしい快晴で、加えて最高気温が24℃と夏日寸前の、暖かさと言うより寒さに慣れている冬装束の身体には“暑い！”という状態で、汗びっしょりになり、急遽下着で調整しました。

会議本番の前夜は、2013-14 年度の地区大会にRI会長代理としてご来訪頂き、お世話になりました 洪 武男様と2ヶ月ぶりに再会し、夕食をご一緒させて頂きましたが、相変らずアグレッシブに振る舞われ大変お元気そうでした「第2560地区の皆様宜しく！」とのことでした。

そして、親善会議では、図らずも次年度RI会長予定のゲイリー.C.K.ホワンRI会長エレクトの講話をお聞きし、次年度への並々ならぬ熱意を感じた次第で御座います。

ところで、3月度は「識字率向上月間」です。ユネスコ(国連教育科学機関)によると、世界で9億人以上の人々が、読み書きが出来ません。其の内3分の2が女性です。

ロータリー財団グローバル補助金の「6つの重点分野」の5番目に「基本的教育と識字率向上」があります。読書のプログラムを企画することや学校に本を寄贈すること、そして地域の図書館を援助すること等が要望されております。識字率向上のために、各ロータリークラブとして何が出来るか？を、もう一度考えてみましょう。

## 2014－15 年度「ロータリーに輝きを」

国際ロータリー第 2560 地区

ガバナーエレクト 佐々木 昌敏 (小千谷 RC)



1月11日に出発して、米国カリフォルニア州サンディエゴで開催された国際協議会に出席して、1月20日に帰国いたしました。

ゲイリーC.K.ホアン RI 会長エレクトは、2014－15 年度のテーマを「ロータリーに輝きを」(Light Up Rotary)とされました。「ただ座って暗闇を呪うよりも、ロウソクを灯したほうがいい」と中国の思想家孔子の言葉を引用して、世界から集めた 537 地区のガバナーエレクトに語られました。

私が一本、あなたが一本。世界 120 万人の会員全員がロウソクを灯します。力を合わせれば、世界を光で輝かせることができます。ロウソクをどのように灯すか、地域社会が何を必要としており、ロータリーがどのように輝かせることができるかは、地元で活躍している皆さん自身が一番よく知っていることでしょう。

今、世界のロウソクは120万本ですが、会員の拡充をすすめて、早く130万本、即ち130万人にしていだきたいと力説されました。この超我の奉仕の輪が広がって、奉仕の喜びを分かちあい、ロータリーの存在感を高めることが、「ロータリーに輝きを」もたらすことになるのだと解説されました。

私は帰りの飛行機のなかで、高度(8000米)の視点から、結局ロータリーは、ひとりひとりの思いやり、心づかい、理念から出発して、自分も輝き、ロータリーも輝き、そして世界が輝くのだ、そうだ全ては”自分から出発するのだと確信いたしました。

地区の方針(スローガン)は、「ロータリーはあな自身から」と素直に決定したのであります。



## ロータリー米山記念奨学生選考会

国際ロータリー第 2560 地区

米山記念奨学委員会

奨学生選考委員長 田中 雅史(新潟南 RC)

この 4 月から当地区でお預かりする新しい米山記念奨学生の選考会が、1 月 18 日(土)に万代シルバーホテルにて執り行われました。

通常ロータリーの年度は 7 月から始まりますが米山は日本の学制に従い 4 月から新年度となります。その 2014-15 年度は全国で約 700 名、当地区では 21 名（継続 2 名・新規 19 名）の採用枠でこの募集に多くの留学生が殺到します。ご存じの通り米山は民間で最大かつ最優遇の奨学制度です。しかも世話クラブとカウンセラーが物心両面の支援をすることで、とても恵まれた奨学期間を送れるのです。

事前の書類審査を踏まえての個人面接は、すべて米山記念奨学会指定の面接問答集により行われます。そして当地区独自のグループディスカッションでの採点を加えて新年度奨学生 21 名が次の通り決定されました。新しく世話クラブとなった皆様には、彼らが母国と日本との架け橋となる未来を夢見て格段のご配慮をお願い致します。

<国別>中国 7、韓国・モンゴル・メキシコ・マレーシア・ベトナム各 2、トルコ・トゴ・インドネシア・ミャンマー各 1

<学校別>新潟大 7、長岡技科大 6、日本歯科大・新潟産業大・新潟医療福祉大・上越教育大・国際大・敬和学園大・事業創造大学院大・長岡高専各 1



2013-2014年度地区補助金プロジェクト報告：長岡ロータリークラブ

## 悠久山公園桜並木・園路再生プロジェクト

長岡ロータリーは長岡のシンボルとして「お山」の愛称で親しまれてきた悠久山公園の来訪者のために、四阿（あずまや）休憩所を設置したり、「お山の千本桜」復活を期して八重桜を昭和 59 年 11 月に第 1 回の植樹、63 年 11 月には 1,000 本の植樹を完了。その後も植樹を続け又桜の手入れ等々長岡市の観光にも一役買っています。

しかし、桜の季節のみならず 1 年を通してお山での憩いを求め数多くの市民の方々が訪れている中、今日桜の植樹ばかり考えていて園路を歩いてみれば狭くて平らな所がなく、非常に歩きにくいことに気付かされました。

ロータリー財団地区補助金申請をし、園路の整備をしようとなりました。現実に事前整備をして、チップを敷き詰めて作業が完了するかいなか、お山を訪れて散策されている方に声を掛け園路を歩いていただいたところ、足・腰に負担がかからず歩きやすい又、雨上がりでも安心して歩けると感想をいただきました。この悠久山公園並木、園路再生プロジェクトを実施して良かったと実感しています。



## 「大切ないのち」を守りたい！

三条東ロータリークラブ

会長 小出 和子

我がクラブは、今年で設立8年目になりますが、設立当初から「いのちを守る」をクラブテーマとしており、三条市には継続してAEDを寄贈し、その講習会も実施しております。

東日本大震災が起きた年は、市内に避難して来られた人たちをお招きして、心をこめた手作りの料理でおもてなしをしました。皆さんから「久しぶりに手料理を食べた」と大変喜んでいただきました。

また、最近深刻な社会問題になっており、新潟県は特に多い「自殺」についても目を向け、大切ないのちを守るために、少しでもお役に立てればと思い、自殺防止を目的に、市民の方を対象とした講演会などを毎年開催しております。

今年で4年目になりますが、これまでも、自らがうつ病で苦しんで、そこから立ち直った方の体験談や、家族の自殺で辛い思いをしてきた方の講演会なども行ってきました。

今回は、日本社会人落語協会副会長で作家でもある樋口強氏の講演と落語をセットにした「いのちの落語講演会」を実施しました。

樋口氏は、生存率が極めて低いガンを発症し、克服はしたものの、その後の後遺症に悩まされながら、自らの体験を笑いや小噺を交えて語ってくれました。苦しい体験をしているからこそ、誰よりも「いのちの大切さ」や「生きる喜び」を強く感じており、語る言葉の一つ一つに説得力がありました。

また、生きることに立ち止まった時は、大いに泣いて笑うことで、生きる希望と勇気が湧いてきますよ！と、自身の経験から述べられました。

後半の「いのちの落語」では、涙あり、笑いありの創作落語を披露していただきました。

このような講演会を重ねることで、聴きに来てくれた人の中に、自殺を思いとどまり、尊い命を失う人が、一人でも少なくなってくれることを願っております。



## 昔ながらに、塩作りに挑戦しました、の巻

越後春日山ロータリークラブ  
社会奉仕委員長 日馬 大成

越後春日山ロータリークラブの会員協力による“義の塩作り”が、今年も上越市立谷浜小学校の生徒さんで行われました。この塩作り体験は、町おこしに携わる人の姿を学ぶことで、地域への愛着をより深めようと2005年から始められました。職業奉仕委員会と社会奉仕委員会が中心となって実施する会員協力イベントです。その塩は、今や、上杉謙信公の『敵に塩を送る』の故事にちなみ、“義の塩”と命名されて、特産品として販売され、地元 B 級グルメ“ホワイト焼きそば”の調味料として使われています。

さて、塩作り体験の舞台は、新潟県上越市谷浜です。その昔、北國街道長浜宿として、大名本陣を勤めた村です。昔から塩作りが盛んで、その収入は漁村の大きな副業でした。今では、それも廃れるばかりです。地域に残る伝統技術や文化などは、より多くの人たちに伝えていこうとする地域の方のご協力を得ない限り続きはしません。実際、体験に加わった谷浜小学校の高学年の皆さんは、自然塩を作るのはこんなにも大変なのか？日照りの時は足が焼けるし、雨の日はずぶぬれになりながらも、塩の結晶が砂に多く吸収されることを思い、いっぱい海水を塩田に撒く・・・昔の人も海岸のごみ拾いしたのだろうか？と、それぞれの体験者の苦労話が学習発表に寄せられました。

他県では、赤穂市が、塩作りの体験学習ができるとか。近県のロータリアンの皆様、新潟県上越市では、無料で天然塩作りやにがりの結晶のプレゼントまでできるのですよ。是非、ご希望の方は、越後春日山ロータリークラブまでご連絡下さい(TEL 025-545-0003)。

義の塩作りを通じて、先人の苦労を知り、ミネラル豊富な塩で焼きそばを食す。そして、せめて、海に行ったらゴミ拾いをして、美しい海岸を維持する。一石三鳥の体験学習です。ちなみに、この天然塩は、お土産物として販売されております。製造販売は、谷浜観光協会(新潟県上越市長浜 129-1)です。電話 025-546-2008 まで、よろしくお願いいたします。





2014年2月13日発行【月刊】  
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

# ハイライトよねやま 167

## 1 寄付金速報 — 下期も順調なスタート —

1月までの寄付金は前年同期と比べ0.6%増、約560万円の増加です。普通寄付金が1.7%減ですが、特別寄付金は1.8%増となりました。昨年7月からの累計額は約10億円となり、先月と同様、直近5年間で最高額となりました。会員皆様からのご支援に深く感謝申し上げます。

1月は普通寄付金（クラブで決定した金額×会員数分をお送りいただく定期寄付）下期分の納入が主になる時期です。今年度はこれまでに全クラブの76%、1,724クラブから納入いただきました。今後とも引き続きご協力賜りますようよろしくお願いいたします。

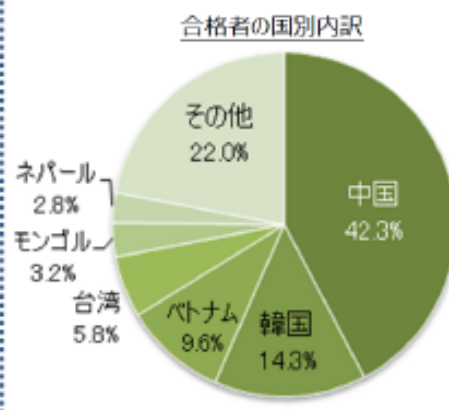
## 2 2014学年度の新ロータリー米山奨学生が決定

2014学年度の新規米山奨学生の面接選考が各地区の選考委員会によって行われ、合格者が決定しました。

1,403人の応募に対し、奨学金プログラム別の合格者数は、博士・修士・学部課程奨学金が532人、地区奨励奨学金が12人、クラブ支援奨学金が10人、海外応募者対象奨学金（海外からの個人応募）が11人です。このほか、海外学友会推薦奨学生を現在選考中です。

国籍・地域別では、中国42.3%、韓国14.3%、ベトナム9.6%、台湾5.8%の順となっています。また、今回は、アルメニア、ツバル、スロバキア、パレスチナ自治政府から初の合格者がありました。

今後は、継続者および他奨学機関合格者による辞退などによって人数の変動が見込まれますが、今回の合格者と昨年度からの継続奨学生を合わせた716人が2014学年度奨学生となる予定です。



## 3 PETS・地区協議会では米山のPRを！

各地区で会長エレクト研修セミナー（PETS）が開催される時期となりました。当会からは毎年、PETSで米山記念奨学事業の説明時間を設けていただくことをお願いしています。

今年は、PETS用・地区協議会用それぞれに、下記資料を各地区ガバナーエレクト事務所に送りします。ぜひご利用ください。また、よねやま親善大使をスピーカーとして招へいただくことも可能です。ホームカミング制度が使える場合もありますので、事務局までご相談ください。

**PETS**

2月14日発送

**地区協議会**

3月末頃～  
順次発送

豆辞典（各クラブ2部ずつ）

- ① 豆辞典
- ② 米山学友の群像 vol. 4
- ③ 『クラブ米山奨学委員長の手引き』  
1～3を各クラブ1部ずつ





## 4 日台ロータリー親善会議で学友が活躍



2014年1月26日、台北市内ホテルにて、第4回日台ロータリー親善会議が開催されました。同親善会議は07年に設立され、08年に第1回会議が東京で開催されて以来、2年に1度、日本と台湾交互に行われ、交流を深めています。

今回は日本から想定を大幅に超える400人以上の登録があり、台湾の米山学友が各所で活躍しました。同親善会議のプログラムでは、昨年からは東関係協会（台湾の対日窓口機関）会長に就任した米山学友の李嘉進さんが祝辞を述べたほか、台湾学友会理事長の林維宏さんが壇上で学友会の報告をしました。また、台日国際扶輪親善会副理事長をつとめる許國文さんが閉会の挨拶をつとめました。このほか、同親善会理事会の事務や日本のロータリアンの出迎え、歓迎の懇親会など、多くの米山学友があたたかい気持ちで支えてくれました。また、今回より、当会の板橋敏雄理事長が日台ロータリー親善会議の総裁に就任しました。

岩邊事務局長より参加しての感想

日台親善会議に前後して、日台の姉妹・友好クラブ同士の交流も盛んに行われました。私たちが米山学友の林士超さん（1995-96/郡山南RC/現・東京米山友愛RC会員）とともに、台北客家RCの方々と昼食会を兼ねて交流を致しました。同RCには学友の呂傳盛さん（1980-84/広島東RC/成功大学教授）もいて、「客家」の歴史を伺いながら親交を深めるとも良い機会となりました。



## 5 米山奨学生・学友の歌をお披露目 — 第2780地区 —

国際ロータリー第2780地区（神奈川県）米山奨学・米山学友委員会では、ロータリーソングに倣って、米山奨学生・学友のテーマソングをつくろうと企画。元米山奨学委員長でプロの音楽家である小島皓史氏（鎌倉中央RC会員）が作詞・作曲を手掛け、このたび『世界の懸け橋』が完成しました。

「作曲にあたっては、世界のロータリーソングを研究した。歌詞をつくるのに一番苦労したが、「日本のお父さん」と呼んでくれる米山奨学生・学友への思いを込めてつくった」と語る小島氏。『世界の懸け橋』は、2月9日に開催された同地区の奨学生終式・歓送会で初披露され、小島氏の歌唱指導を受けて練習した後、会の締めくくりに、出席者全員で合唱しました。当日、マイクの前で歌った米山奨学生の徐林さん（中国/鎌倉中央RC）は、「今日が終わりではなく、これから学友として新たにスタートすると実感できる、とても良い歌」と、曲の感想を語ってくれました。

企画を提案した第2780地区米山奨学・米山学友委員会の高田喜好委員長は、「国が違えば言葉が違い、思いが伝わらないこともある。けれども、目と目、声と声を合わせて、手をつないで歌えば、必ずつながりが生まれる。今回、イメージ通りの素晴らしい曲をつくっていただいたので、これから米山奨学生・学友が集まる機会に、歌い続けていきたい。また、ぜひ全国のほかの地区でも歌っていただけるとありがたい」と、語っています。



公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会  
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15  
黒龍芝公園ビル3F

Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281  
E-mail : highlight@rotary-yoneyama.or.jp  
URL : <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>

編集担当：野津・峯

平成26年2月25日

ガバナー各位

ロータリー文庫運営委員会  
委員長 戸田一誠

拝啓

春浅の候、貴ガバナーはじめスタッフの皆様には益々ご健勝にてご活躍の事とお慶び申し上げます。  
また常々文庫へのご協力を心から感謝致しております。  
このたびは、下記9点をご紹介しますので「ガバナー月信」にご掲載下さるようお願い致します。  
なお今後ともご活躍とご成功を心からお祈り致しております。

敬具

追伸 下記ご掲載の場合は〔申込先〕もご記載下さるようお願い致します。

## 文庫通信 (318号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。ホームページの「ロータリー文庫について」欄もご覧ください。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。  
以下資料のご紹介を致します。

### 最近の資料から

- ◎「魅力的なクラブ創り」 北 清治 2013 9p (D.2780地区大会報告書)
- ◎「『ロータリーに魅せられて』ロータリーは新会員とともに」坂本俊雄 2014 10p (D.2710地区大会特集号)
- ◎「変わりつつあるロータリー」 江崎柳節 2013 7p (D.2800地区大会記念誌)
- ◎「『ロータリーの目的』とR I 戦略計画」 南園義一 2013 8p (D.2700地区大会の記録)
- ◎「国際ロータリーの動向とロータリー財団」三木 明 2013 5p (第35回青少年指導者育成セミナー報告書)
- ◎「過去を内省し、新しきものを統合していこうーロータリー創立100周年後の歩みで感じたこと」  
黒田正宏 2013 51p
- ◎「ポリオが地球から消える日『世界の子どもたちとの約束を果たそう』」  
北山輝夫 2013 2p (D.2830地区大会記録誌)
- ◎「ポリオとの戦いー根絶間近のインドから」 ロケシュ・グプタ 2013 5p (D.2830地区大会記録誌)
- ◎「トルコの識字プロジェクト支援/ロータリーへの目覚め」  
重田政信/清 章司 D.2840 2013 1p (私のロータリーモメント)

〔上記申込先：ロータリー文庫〕

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3階  
TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>  
開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日

## 第2560地区 2013-14年度 1月末 会員数および出席報告

R C	例会数	出席率	会員数			
			7月1日現在	1月末会員数	うち女性	増減
第1分区(9クラブ)		86.84	345	349	36	4
新発田	3	98.80	85	87	0	2
村上	4	84.85	32	33	7	1
水原	4	72.70	26	26	1	0
中条	4	91.41	31	32	3	1
新発田城南	4	89.74	42	41	6	-1
豊栄	4	80.55	26	27	4	1
新発田中央	4	89.94	50	50	5	0
中条胎内	4	81.90	29	29	5	0
村上岩船	2	91.66	24	24	5	0
第2分区(9クラブ)		86.28	405	429	15	24
新潟	4	85.95	83	93	0	10
新潟東	4	90.60	53	55	4	2
新潟南	4	88.98	85	93	0	8
佐渡	4	85.40	12	12	0	0
新潟西	4	91.40	32	33	0	1
佐渡南	4	75.09	42	44	5	2
新潟北	3	80.38	36	39	0	3
新潟中央	4	91.30	23	23	0	0
新潟万代	3	87.39	39	37	6	-2
第3分区(6クラブ)		81.20	138	136	8	-2
新津	4	70.83	25	24	1	-1
村松	4	83.00	9	9	0	0
五泉	3	87.71	21	21	3	0
白根	4	85.40	43	43	2	0
新津中央	4	81.67	31	30	1	-1
阿賀野川ライン	4	78.60	9	9	1	0
第4分区(11クラブ)		79.57	352	362	19	10
三条	4	86.41	54	55	0	1
燕	4	67.84	25	28	1	3
加茂	4	74.21	31	31	5	0
三条南	3	90.11	44	50	1	6
分水	4	70.43	29	29	2	0
見附	4	73.00	18	20	1	2
吉田	4	90.20	33	33	1	0
三条北	4	78.68	71	68	3	-3
巻	4	86.60	11	10	0	-1
田上あじさい	4	75.00	6	6	1	0
三条東	4	82.78	30	32	4	2

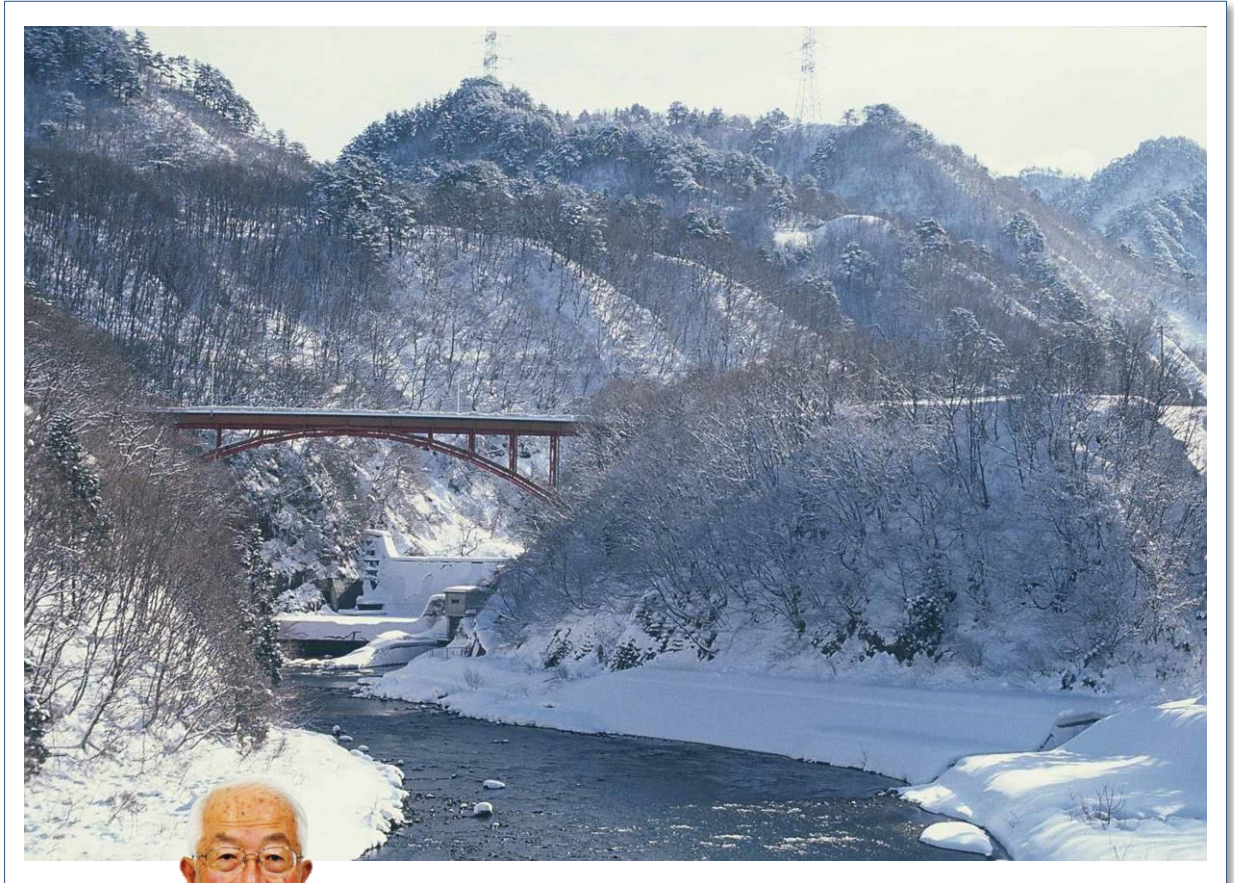
R C	例会数	出席率	会員数			
			7月1日現在	1月末会員数	うち女性	増減
第5分区(7クラブ)		87.20	300	305	30	5
長岡	3	87.98	37	42	2	5
柏崎	4	85.87	47	46	0	-1
長岡東	3	87.20	63	64	7	1
柏崎東	2	95.56	44	45	5	1
栃尾	4	76.40	25	23	0	-2
長岡西	4	87.29	44	46	5	2
柏崎中央	4	90.11	40	39	11	-1
第6分区(6クラブ)		87.20	148	151	6	3
十日町	4	96.96	32	33	0	1
小千谷	4	77.79	38	38	3	0
雪国魚沼	4	83.40	21	21	1	0
十日町北	3	94.20	22	23	1	1
津南	3	91.67	24	24	1	0
越後魚沼	4	79.15	11	12	0	1
第7分区(9クラブ)		79.45	302	306	28	4
高田	4	94.18	58	58	1	0
直江津	4	76.01	37	42	2	5
新井	4	75.00	29	31	3	2
糸魚川	4	70.24	36	37	2	1
妙高高原	0		4	0	0	-4
高田東	4	77.62	38	39	3	1
糸魚川中央	4	77.34	33	33	0	0
頸北	4	87.50	15	15	1	0
越後春日山	4	77.72	52	51	16	-1

妙高高原RCは11月末で解散致しました。

クラブ数	56 クラブ
7月1日 会員数	1,990 人
1月末 会員数	2,038 人
女性会員数	142 人
純増減会員数	48 人
当月平均出席率	83.74 %



ROTARY INTERNATIONAL  
DISTRICT 2560



国際ロータリー第2560地区 山崎ガバナー事務所

〒959-2627 新潟県胎内市野中 490-3 新和ヒルズ 2F  
Tel.0254-28-8822 FAX0254-28-8826  
E-mail:k.yamazaki@rid2560niigata.jp